

WES 0002 : 2000

WES

溶接材料規格の書き方

Drafting manual for standard of welding consumables

WES 0002 : 2000

平成 12 年 8 月 1 日 改正

社団法人 日本溶接協会

The Japan Welding Engineering Society

WES 0002 (溶接材料規格の書き方)

改正原案作成委員会 構成表

	氏 名	所 属
(委員 長)	桑 名 武	東北大学名誉教授
(幹 事)	岩 田 俊 雄	日鐵溶接工業株式会社
(委 員)	中 井 洋 二	株式会社神戸製鋼所
〃	牛 尾 誠 夫	大阪大学教授
〃	中 川 昌 俊	財団法人日本規格協会
〃	中 原 征 治	通商産業省工業技術院機械技術研究所
〃	福 井 正 弘	通商産業省工業技術院標準部
〃	松 本 茂	住金溶接工業株式会社
〃	宮 尾 信 昭	四国溶材株式会社
〃	森 三 郎	日本鋼管工事株式会社
〃	中 村 稔	日本油脂株式会社
〃	手 塚 伸 夫	川崎製鉄株式会社
〃	近 藤 穆	大同特殊鋼株式会社
〃	田 島 栄 達	日本ウェルディング・ロッド株式会社
〃	小笠原 仁 夫	社団法人日本溶接協会
(事 務 局)	関 口 みどり	社団法人日本溶接協会

協会規格を他書へ転載する場合のご注意

本規格の内容の一部又は全部を他書に転載する場合には、当協会の許諾を得るか、又は本規格からの転載であることを明示してください。このような処置がとられないと、著作権及び出版権の侵害となります。

制定年月日 : 昭和 62 年 8 月 1 日

改正年月日 : 平成 12 年 8 月 1 日

原案作成委員会 : 社団法人日本溶接協会 溶接棒部会 技術委員会 (委員長 桑名 武) **WES 0002** 改正原案作成委員会 (委員長 桑名 武)

審議委員会 : 社団法人日本溶接協会 規格委員会 (委員長 堀川浩甫)

この規格についてのご意見又はご質問は、社団法人日本溶接協会業務部(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11 産報佐久間ビル 9 階)にご連絡ください。

まえがき

この規格は、社団法人日本溶接協会の定款及び諸規程に基づいて、規格案が作成され、規格委員会の審議を経て、理事会によって改正が承認された日本溶接協会規格（以下、**WES** という。）である。これによって **WES 0002 : 1991** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、改正された **WES 0001 : 1999** に基づいて様式を整合させ、最新版の溶接材料の **JIS** を事例として引用した。

WES 0002 : 2000

日本溶接協会規格

溶接材料規格の書き方

Drafting manual for standard of welding consumables

序文 この規格は、ガス溶接及びアーク溶接材料規格の書き方について規定したもので、1987年に制定され、1991年に改正された。

今回の改正では、改正された **WES 0001 : 1999** に基づいて様式を整合させ、最新版の溶接材料の **JIS** を事例として引用した。

1. **適用範囲** この規格は、ガス溶接及びアーク溶接材料規格の書き方について規定する。
2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS Z 3001	溶接用語
JIS Z 8301	規格票の様式
JIS Z 8401	数値の丸め方
WES 0001	日本溶接協会規格作成基準

3. 規格の名称

3.1 **溶接材料の名称** 溶接材料の名称（以下、材料名という。）は、次による。

a) 溶接材料の分類、呼称及び略称は、**図 1** による。

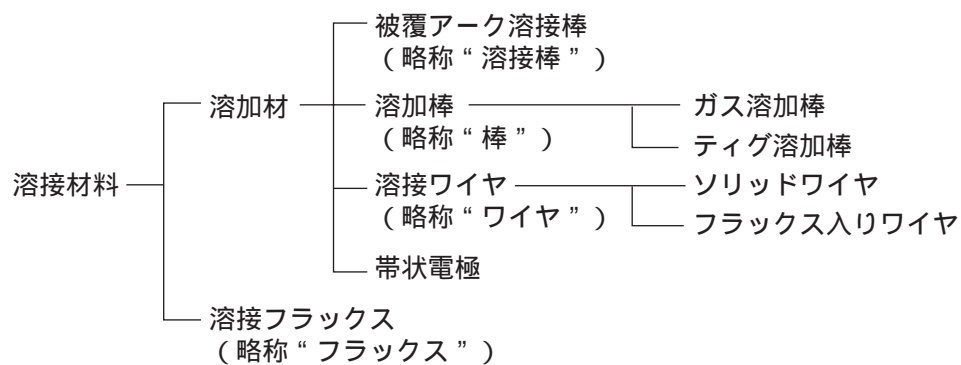


図 1 溶接材料の分類、呼称及び略称

b) 被覆アーク溶接棒以外の材料名は、**JIS Z 3001** に基づいて溶接方法を限定し、次の例のように記す。

例 1. マグ溶接ソリッドワイヤ

例 2. サブマージアーク溶接フラックス

例 3. サブマージアーク溶接ソリッドワイヤ及びフラックス